

The Salvation Army in Japan Annual Report

救世軍 年次報告 2021-2022



写真：モルドバでウクライナ難民支援に従事する救世軍士官（伝道者）

ごあいさつ

救世軍司令官 スティーブン・モーリス



この年次報告を手にしたみなさまにご挨拶申し上げます。新型コロナウイルス感染症（Covid-19）で亡くなられた方々、ロシアとウクライナとの紛争により命や財産を失くされた方々、海外での難民生活を余儀なくされている方々の上に、心から神の慰めをお祈り申し上げます。

コロナ禍と戦争によって混迷を深めている世界にあって、救世軍は「キリストの愛に動機づけられ、すべての人に分け隔てなく助けの手を差し伸べる」というミッションステートメントを具現化するべく活動してまいりました。この年次報告を通して、2021年から2022年にかけての活動をご報告するとともに、お祈りとご支援をもって救世軍の働きを可能にくださったみなさまに心から感謝を申し上げます。

コロナ禍の終息の見通しは依然として立っておらず、不穏な国際情勢も続いています。救世軍では事業を停滞させることなく継続するとともに、新たに生じてきているニーズに応えることによって、世界のすべての人が「豊かな命」（ヨハネによる福音書10章10節）を経験することができるよう、前進していきたいと願っております。

みなさまのお祈り、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

もくじ

ごあいさつ	2	国内法人組織	
救世軍の始まり	3	宗教法人救世軍	
日本の救世軍		社会福祉法人救世軍社会事業団	
伝道	4	会議体・ガバナンス	
Q & A		部門・事業所	
各地の小隊（教会に相当）の働き	5	救世軍本営（法人本部）各部	
医療	6	救世軍サポート会ご案内	
救世軍ブース記念病院		小隊（教会に相当）・社会福祉施設・病院・	
救世軍清瀬病院		その他施設	11
福祉	8	北海道連隊 関東東北連隊	
社会福祉施設		東京東海道連隊 西日本連隊	
災害対策	9	救世軍士官学校 山室軍平記念救世軍資料館	
街頭生活者支援		社会福祉施設 病院 その他施設	
組織	10	統計で見る救世軍の働き	12
国際本部		募金報告、SNS 一覧	13
救世軍万国本営 救世軍日本軍国		ウクライナ支援	14

救世軍 年次報告 2021-2022

発行 救世軍本営 代表者 スティーブン・モーリス
ホームページ <https://www.salvationarmy.or.jp>

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町2-17

TEL 03-3237-0881 Fax 03-3237-3588



救世軍のシンボルである旗は、世界共通であり、すべての拠点に掲げられています。「青」は父なる神の清さ、「赤」はイエス・キリストの贖罪の血潮、「黄」は聖霊の火を象徴していて、全体で三位一体の神を表しています。

写真：救世軍ブース記念病院・山室機恵子記念チャペル

救世軍の始まり

救世軍は1865年にイギリス・ロンドンの貧困地区の一角で、プロテスタントのメソジスト派の牧師であったウィリアム・ブースと妻カサリンによって創設された国際的なキリスト教会です。産業革命で生じた貧富の格差・労働災害・公害問題や、景気のマイナス局面で発生した失業問題を解決するために、ブースは1890年に『最暗黒の英国とその出路』（“The Darkest England and the Way Out”）を出版して、都市植民・農業植民・海外植民の三段階からなる多角的な社会改良事業を提案して、救世軍の社会事業を推し進めてきました。ブースのビジョンは157年後の今、世界132の国と地域で救世軍が進める伝道・福祉・医療・教育・地域開発・災害被災者支援・人身取引被害者支援となって展開しています。救世軍は1947年以来、国連の経済社会理事会（ECOSOC）の特別協議資格をもつ国連NGOでもあります。

日本の救世軍

救世軍は1895（明治28）年に日本での活動を開始し、免囚保護、廃娼運動、結核療養所、労働寄宿舎、児童虐待防止など、日本社会事業史における先駆的な取り組みを進めてきました。明治・大正・昭和は旧民法のもと財団法人日本救世軍財団として活動し、戦後は宗教法人救世軍として伝道と医療を、社会福祉法人救世軍社会事業団として社会福祉事業を進めています。今年で127周年を迎えます。

クリスマスから年末の時期、三脚に鍋をつるし、街頭で募金をする「社会鍋」は1909（明治42）年以来続いており、俳句の季語にもなっています。みなさまから寄せられた善意のご献金は、年間を通じて、街頭生活者支援、緊急災害被災者への支援など、様々なニーズに応えるため活用されています。



伝道

救世軍は、イエス・キリストの福音を伝え、人々が礼拝のために共に集まり、地域の人々への奉仕を進める目的で、世界 14,597 か所に小隊（教会に相当）と分隊（伝道所）を置いて活動しています。そのうち 52 か所が日本にあります。

毎週日曜の午前中に行う礼拝は「聖別会」と呼ばれ、聖書のメッセージに耳を傾け、神と隣人を愛する生き方への思いを新たにする時となっています。コロナ禍のために集会を休止・またオンラインでの開催となっていた時期もありましたが、現在は、感染者数の減少を注意深く見守りながら、徐々に対面での集会を再開しています。

小隊で行う地域の人々への奉仕としては、子ども給食、生産者支援（生産者から農産物を購入し、廉価で販売する等）、街頭生活者支援など、さまざまな活動を行っています。

救世軍公式 YouTube チャンネルやソーシャルメディアを通しての情報発信も行っています。2021 年のイースターやクリスマスには、コロナ禍にあっても福音を伝えるため、オンラインでのコンサート配信を行いました。

Q & A

Q 救世軍の人の生活について教えてください。

A 救世軍にはボランティア・職員（必ずしも信徒ではない）・兵士（信徒）・士官（伝道者）など、いろいろな立場の人が活動していますが、皆、共通のミッション（神の愛に動機づけられた他者への奉仕）を共有しています。兵士は 14 歳以上で、キリストに対する信仰をもち、入隊式（正式に救世軍の信徒となる儀式）を経たメンバーで、禁酒・禁煙のライフスタイルを自主的に選び、普段は学生・職業人・主婦として生活しながら、礼拝・伝道・奉仕をしています。

Q なぜ軍隊の形式を取っているのですか？

A 新約聖書のテモテへの手紙二 2 章 3 節に「キリスト・イエスの立派な兵士として、わたしと共に苦しみを忍びなさい」という言葉があります。救世軍は、社会悪と戦い、人々の魂を救うための迅速な行動に最も適したものとして、軍隊流の組織をとっています。

Q 救世軍の制服について教えてください。

A キリストの兵士であることを目に見える形で表すために、救世軍の兵士は青い肩章の付いた制服を着ます。襟に付いた S のエンブレムは「救い」(Salvation) の頭文字です。伝道者を養成する士官学校（神学校にあたる）で 2 年間の訓練を受けて救世軍の士官に任じられた者は、赤い肩章と襟章の付いた制服を着用します。士官は奉仕の年数により、中尉、大尉、少佐となります。また、特別な任務を与えられて、大佐補、大佐、中將に昇任する士官もいます。制服は、普段の奉仕、伝道や説教、結婚式や葬式などの儀式、移動や旅行、国家元首との面会など、日常から非日常のあらゆる場面で着用されます。それはすべて、キリストの救いを証しするためであり、また、着る者をこの世のさまざまな誘惑から守るためでもあります。





各地の小隊ではオンラインの活用や、少人数で時間をずらして聖別会を行うなど、工夫しながら、礼拝の時を守っています。

写真上：函館小隊

小隊は礼拝の場であり、同時に、地域奉仕のための拠点でもあります。

写真右：岡山小隊。街頭生活者支援を行うNPO法人へ米などの提供。

写真下：江東小隊では毎月第3金曜日に「こども食堂マナ」を実施しています。

各地の小隊の働き



医療

救世軍は、世界で28の総合病院、18のホスピス（終末期医療）、38の産科病院、59の専門病院と専門クリニック、161の診療所を運営しています。昨年一年間に入院患者467,509人、外来患者747,981人に医療を提供することができました。日本では、ホスピスを併設した2つの病院を通して、人が身体的・精神的・社会的・霊的に健康な状態となることを目指す「全人的」な医療と介護に取り組んでいます。

日本における救世軍の医療

1912（明治45）年に東京・仲御徒町に「救世軍病院」を開設して困窮者への医療を提供したことが、日本における救世軍の医療事業の始まりです。1916（大正5）年、和田堀内村（現・杉並区和田）に日本初の一般市民を対象とした結核サナトリウムの「ウィリアム・ブース記念救世軍結核療養所（救世軍杉並療養所）」（50床）を開設。1934（昭和9）年に日本初の外気舎・コロニー舎をつくり、外気療法・作業療法など結核医療に新機軸を生み出し、病床数260床に拡充しました。救世軍杉並療養所に入りきれない結核患者をケアする場所として1939（昭和14）年に清瀬村（現・清瀬市）に「救世軍清瀬療養園」（後に「救世軍清心療養園」と改名）を開設しました。

救世軍杉並療養所は1968（昭和43）年に「救世軍ブース記念病院」と改名し、医療ニーズの変化に合わせて一般病院へ転換しました。2001（平成13）年に病院全面新築工事を着工し、現在は療養病棟147床、地域包括ケア病棟32床、緩和ケア病棟20床、全199床の病院として運営しています。

救世軍清心療養園は戦後の結核患者の減少に伴い「救世軍清瀬病院」として高齢者病棟・一般病棟へと転換し、1989（平成元）年に日本で3番目のホスピス病棟を開設しました。現在はホスピス（緩和ケア）病棟25床、療養病棟117床（医療療養74床、介護療養43床）、全142床の病院として運営しています。2016（平成28）年に療養病棟の新病棟が完成しました。

救世軍ブース記念病院（1916年開設）

<https://boothhp.salvationarmy.or.jp/>

〒166-0012 東京都杉並区和田 1-40-5

電話 03-3381-7236 FAX 03-5385-0734

〈診療科目〉

内科、消化器内科（内視鏡）、循環器内科、精神科、神経内科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、眼科、漢方内科、緩和ケア科（ホスピス外来）、各種健康診断

入院随時

〈各部サービス〉

医療福祉相談、健康管理講座、栄養相談、患者相談窓口、チャプレン相談窓口



救世軍清瀬病院（1939年開設）

<http://kiyosehp.salvationarmy.or.jp>

〒204-0023 東京都清瀬市竹丘 1-17-9

電話 042-491-1411 FAX 042-491-3900

〈診療科目〉

内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、リハビリテーション科、緩和ケア内科

入院随時

〈各部サービス〉

医療福祉相談、通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション、健康管理講座、栄養相談、患者相談窓口、チャプレン相談窓口



両病院とも、(財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます。



このコロナ禍にあって救世軍の病院では地域の方々に新型コロナウイルスのワクチン接種を提供することができました。

写真：救世軍ブース記念病院・外来ロビー

福祉

社会福祉施設

救世軍は世界で、200 の児童養護施設、191 の高齢者介護施設、300 の依存症者（アルコール、薬物等）回復支援施設、476 のコミュニティーセンター、2725 のバザー場・リサイクル施設などを運営し、それらの拠点を通してさまざまな社会福祉の活動を進めています。日本では児童養護、婦人保護、高齢者介護、アルコール依存症者回復支援、保育所、学童保育、バザー場の働きを行っています。そのいずれもが、国連が進める「持続可能な開発目標」（SDGs）のうち次の目標達成に貢献しています。

1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 5. ジェンダーの平等を実現しよう
12. つくる責任、つかう責任



救世軍では、まだ着られる衣料、まだ使える雑貨をみなさまから寄贈していただき、それを整理して必要とする方々に販売するリサイクル事業を行っています。この事業を通して、雇用機会が生み出されています。

写真上：男子社会奉仕センター・バザー場
寄贈品の仕分け作業

写真右：バザー場売り場のようす





救世軍の運営する保育園では、地域のニーズに応えつつ、なによりも子どもたちの健やかな成長のために日々保育にあたっています。

写真：救世軍佐野保育園



災害対策

2021年8月に発生した九州豪雨により甚大な被害を受けた佐賀県武雄市で、救世軍は、九州キリスト災害支援センターや、地元社会福祉協議会や支援団体を取りまとめる団体と協働して、支援活動に携わりました。9月には救世軍の職員2名も現地で浸水家屋の清掃等の作業の一端を担いました。救世軍では今後も、時と場合に合った支援を模索し対応していきます。



街頭生活者支援

東京では2021年12月～2022年2月に週3回、大手町、隅田川、代々木において街頭給食を行いました。コロナ禍にあって、スタッフの感染予防対策とともに街頭生活者の方々の健康に配慮し、マスク着用の声掛けの徹底、密を避ける対策を取り実施しました。これは年末の街頭募金・社会鍋に寄せられた資金による活動です。

組織

国際本部

救世軍万国本営（本部、イギリス・ロンドン）

万国総督 大将 ブライアン・ペドル

ヨーロッパゾーン

アフリカゾーン

アメリカゾーン

南アジアゾーン

南太平洋及び東アジアゾーン（日本はこのゾーンに属しています）

救世軍日本軍国

司令官 大佐 スティーブン・モーリス

国内法人組織

宗教法人救世軍

宗教法人責任役員会

代表役員 スティーブン・モーリス

社会福祉法人救世軍社会事業団

社会福祉法人理事会

社会福祉法人評議員会

理事長 石川一由紀

会議体・ガバナンス

軍国運営会議

軍国財政会議

一般支出会議

社会福祉会議

財産会議

医療会議

病院経営会議

メディア・コミュニケーション会議

士官志願者会議

士官学校財政会議

教育会議

引退士官会議

士官審査会議

幹部士官会

救世軍諮問委員会

部門・事業所

救世軍本営（法人本部）

東京都千代田区神田神保町2丁目17

TEL 03-3237-0881

司令官部

霊的生活成長部

書記長官部

法務部 ジャパン・スタッフ・バンド

ジャパン・スタッフ・ソングスターズ

人事・教育部

士官学校 士官志願者部

伝道事業部

青少年部 音楽部 コミュニティ・ケア・ミニ

ストリーズ レボリューション・ジャパン

山室軍平記念救世軍資料館 ゴスペルハウス

財務管理部

財産部 出版供給部

文書部

編集部

医療部

医療従事者交友会

社会福祉部

災害対策室

女性部

人身取引対策室



※救世軍では、国連が掲げる「持続可能な開発目標」(SDGs)の「5. ジェンダーの平等を実現しよう」にコミットし、ジェンダーギャップの是正のための取り組みを世界的に進めています。会議体ではその構成が可能な限り男女同数となるよう配慮しています。

救世軍サポート会ご案内

救世軍サポート会は救世軍の働きの一層の充実のために設けられています。2020年4月～2021年3月には15,167,965円、2021年4月～2022年3月には15,672,319円のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。サポート会窓口を通して、緊急災害や社会鍋のため等、指定献金も託していただき、感謝申し上げます。また、ウクライナ支援金として5月

小隊（教会に相当）・社会福祉施設・病院・その他施設

北海道連隊（地区）

本部 札幌市北区北 22 条西 5 丁目 1-5 TEL 011-788-5352

遠軽小隊 0158-42-3409 札幌小隊 011-788-5352
釧路分隊 0155-23-4877 函館小隊 011-788-5352
帯広小隊 0155-23-4877 小樽分隊

関東東北連隊（地区）

本部 高崎市寄合町 5 TEL 0283-21-5939

桐生小隊 0277-45-3117 長野分隊 0283-21-5939
前橋小隊 027-231-9533 仙台小隊 022-273-2368
高崎小隊 027-323-1337 若松小隊 0283-21-5939
佐野小隊 0283-21-5939 新潟小隊 025-229-2003
熊谷小隊 048-522-2477 浪江小隊 0283-21-5939
(震災被害のため現在休止中)

東京東海道連隊（地区）

本部 東京都墨田区太平 4-11-3 TEL 03-6261-5701

上野小隊 03-3873-5386 月島小隊 03-5860-2994
大森小隊 03-6272-9771 西新井小隊 03-3889-3894
川口小隊 048-267-9799 横浜小隊 045-714-6060
神田小隊 03-3263-0848 横須賀分隊 045-714-6060
京橋小隊 03-3551-0337 静清小隊 054-365-8270
清瀬小隊 042-491-7600 浜松小隊 053-452-6717
江東小隊 03-6261-5702 名古屋小隊 052-935-7875
渋谷小隊 03-6261-2447 八王子分隊、甲府分隊
杉並小隊 03-6256-8191

西日本連隊（地区）

本部 大阪市北区天神橋 3-6-20 TEL 06-6351-0084

京都小隊 075-343-3726 呉小隊 0823-25-4794
天満小隊 06-6358-6679 高松小隊 087-851-0752
泉尾小隊 06-6551-9187 高知小隊 088-822-0365
西成小隊 06-6661-3590 八幡小隊 093-652-1584
神戸小隊 078-341-4594 福岡小隊 092-531-7418
岡山小隊 086-227-9029 鶴橋分隊、塚本分隊、
福山小隊 084-926-3151 丹後分隊、大牟田分隊
広島小隊 082-262-3776 大津分隊

救世軍士官学校

〒166-0012 東京都杉並区和田 1-40-17

TEL 03-6256-8262

救世軍士官（伝道者）を養成する学校です。
(全寮制・2年間)



山室軍平記念救世軍資料館

〒166-0012 東京都杉並区和田 2-21-39 TEL 03-6256-8194

日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所蔵。祝祭日を除く毎土曜に開館（10時～16時）しています。
(ただし、指定参観希望日があれば、週日も受け付けいたします)

※●は、社会福祉法人 救世軍社会事業団の施設

- 児童養護施設・機恵子寮〔グループホーム 2 戸〕 東京都
- 児童養護施設・世光寮〔グループホーム 3 戸〕 東京都
- 児童養護施設・希望館 大阪府
- 児童養護施設・愛光園 広島県
(併設: 児童家庭支援センター「明日葉」)
- 児童養護施設・豊浜学寮〔グループホーム 2 戸〕 広島県

- 婦人保護施設・婦人寮
- 婦人保護施設・新生寮

- 札幌市しせいかん保育園 011-204-9560
- 桑園保育所 北海道札幌市 011-221-6630
- 菊水上町保育園 北海道札幌市 011-821-2879
- 佐野保育園 栃木県佐野市 0283-22-4081
(併設: 学童保育「佐野こどもクラブ」)
- 呉保育所 広島県呉市 0823-21-4711

救世軍ブース記念病院

救世軍清瀬病院

- 老人保健施設・ブース記念老人保健施設 グレイス
東京都杉並区 03-3380-1248
(併設: ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーションルツ・ナオミ)

- 特別養護老人ホーム・恵みの家(ユニット型)
東京都杉並区 03-3381-7243

- 特別養護老人ホーム・恵泉ホーム
東京都清瀬市 042-493-5161

- ケアハウス いずみ(恵泉ホーム併設) 042-496-7575
(併設: ホームヘルパーステーション いずみ)

男子宿泊施設 新光館 東京都(※現在休止中)

アルコール依存症者回復支援施設

- 自省館(救護施設) 東京都清瀬市 042-493-5374
- 男子社会奉仕センター 東京都杉並区 03-5860-2992

救世軍バザー場 東京都杉並区
オープン 毎週土曜日 9～12 時
中野富士見町 (東京メトロ丸ノ内線)より徒歩10分
江東出張所 東京都墨田区
オープン 第 2・第 4 土曜日 10～13 時
錦糸町 (東京メトロ半蔵門線/JR)より徒歩10分
○両施設共、寄贈品受付、お問合せは
03-5860-2992 まで

未までに 5,073,142 円のご献金をお預かりしています。
これらの資金は救世軍の国際的ネットワークを通じて、
ウクライナ難民支援のために用いられています。

引き続き、サポート会員となってくくださる方を募集
しております。よろしくお願いいたします。

年会費

個人会員 一口 3,000 円

団体・法人会員 一口 10,000 円 ○入会方法等詳しくは、救世軍ホームページをご覧ください。



統計で見る救世軍の働き

※ 2022 年救世軍年鑑より

※数字は拠点数・事業数を示します。○人とあるのは人数です。また（ ）内の人数は拠点の収容最大人数あるいは参加者数です。

救世軍が活動している国と地域	132
小隊（教会）・分隊（伝道所）	14,597
福祉支援センター	72
救世軍士官（伝道者）	27,299 人
職員	105,400 人

小隊併設地域開発プログラム	34,530
バザー場	2,702
リサイクルセンター	23

街頭生活者宿泊所	3220	(43,656 人)
児童養護施設	200	(6,152 人)
高齢者ホーム	191	(10,854 人)
身体障がい者ホーム	30	(1,465 人)
視覚障がい者ホーム	4	(82 人)
更生施設	136	(991 人)
母子ホーム	30	(930 人)
家族支援センター	89	(3,500 人)
知的障がい者ホーム	69	(1,749 人)
その他の宿泊施設	29	(1,330 人)

依存症者リハビリ施設・通所型	101	(1,580 人)
依存症者リハビリ施設・居住型	199	(12,682 人)
酔客保護センター	17	(1,615 人)
その他の依存症リハビリサービス	61	(2,705 人)

災害復興支援事業	83	(241,407 人)
難民支援事業	28	(164,765 人)
難民生活支援事業	28	(165,024 人)
その他の災害被災地支援事業	146	(4,013,710 人)

コミュニティーセンター	476	(783,475 人)
高齢者デイケアセンター	88	(3,403 人)
ストリートチルドレンデイケアセンター	6	(250 人)
保育園	371	(20,907 人)
ユースセンター	256	(18,482 人)
その他のデイケアセンター	1,090	(2,036 人)
刑務所教誨訪問数	50,575	人
刑務所出所者支援数	44,284	人

留置場支援数	51,730	人
失踪人探索取扱数	2,265	人
失踪人発見数	813	人
自殺防止パトロール支援数	219,827	人
職業紹介取扱数	61,440	人
カウンセリング	204,534	人
困窮者支援数	16,939,895	人
災害被災者支援数	10,152,114	人
災害給食車両	7,549	
給食センター	42,154	
レストラン・カフェ	145	
高齢者アパート	1,067	(4,687 人)
学生寮・勤労者寄宿舍	60	(1,141 人)
定住促進事業	88	
夏期福祉キャンプ	47	(5,796 人)
総合病院	28	(2,150 人)
ホスピス（緩和ケア）	18	(620 人)
産科病院	38	(892 人)
専門病院	38	(1,775 人)
専門クリニック	21	(3,398 人)
診療所	161	
移動診療所	1,201	
外来患者数	747,981	人
入院患者数	467,509	人
医師・看護師	11,208	人
その他医療従事者	3,451	人
病後療養所	3	(156 人)
HIV 教育プログラム	3,685	(182,963 人)
医療デイケア	58	
幼稚園	780	
小学校	1,348	
中学校・高校	508	
短期大学・大学	17	
専門学校	47	
生徒	471,519	人
教師	19,075	人
盲学校	20	
養護学校	39	
教師養成所	36	
学習センター	8	



日本の救世軍（世界の統計に含まれています）

救世軍士官（伝道者）	161 人
職員	1,110 人
小隊（教会）・分隊（伝道所）	52
総合病院（ホスピス併設）	2
社会福祉施設・グループホーム	31
バザー場	2

2021 年度 募金報告

皆様のご協力に感謝申し上げます

克己週間募金 10,723,222 円
海外の救世軍を通しての支援活動のため

感謝祭募金 11,811,197 円
日本国内の救世軍の活動支援のため

一円献金 1,016,503 円
インドネシアの女性の能力向上のため

社会鍋 23,002,283 円（東京地区※）
街頭生活者支援、緊急災害時の支援等、各種支援活動のため ※全国募金額は後日ホームページ等でご報告いたします。



◆救世軍公式 SNS

YouTube : 救世軍 The Salvation Army

YouTube : 救世軍青少年部チャンネル

Facebook : @SArmy_JP

Instagram : @SArmy_JP

Twitter : @SArmy_JP

Pinterest : @sarmyjp

ウクライナ支援



救世軍はウクライナで 1993 年より活動を開始し、キーウ、ハルキウ、ドニプロ、ドネツク、キロヴォフラード、ピソチン、ヴィーンヌィツャ、リヴィウ、ノーヴェに小隊（教会に相当）を置いて働きを進めています。

2022 年 2 月にウクライナでの紛争が発生して以来、救世軍は難民への食品、衣料、宿泊、衛生用品、精神的ケア等を提供し、また、人身取引防止の啓蒙活動を行っています。ウクライナ国内と周辺国での支援活動の現況を紹介します。

ウクライナ

出国者が減り、多くの人が帰国を希望しつつありますが、各地の救世軍の拠点では、難民が休息と温かい食事をとれる安全な場所を提供し続けています。

モルドバ

食品、衣料、生活支援、子どもたちの遊び場、ロシア語話者の子どもの学習機会を提供しています。

ルーマニア

難民に雇用や子どもの教育に関する情報提供、食品衣料引換券の配布などを行っています。

ポーランド

食品、衣料品、衛生用品、おむつ、おもちゃ等の支援物資を提供しています。

ブルガリア

オデーサからの難民を支援しています。

リトアニア

首都ビリニュスと港湾都市クライペダで、食品、衛生用品、寝具、食品衣料引換券を配布しています。このプロジェクトは日本の救世軍の資金で運営しています。

ハンガリー

ウクライナと国境を接するハンガリーには、スイスの救世軍から多くの支援物資が運ばれ、難民の人々の手に届けられています。ボランティアが支援を行っています。

ジョージア

バトゥミとトビリシで食品、衛生用品、衣類、毛布などの支援を行っています。

ノルウェー

コングスベルグの町で、国内最大規模の難民受け入れセンターの一つの運営を担っています。地元の自治体との協力のもと、食事の提供、医療サービス、子どものための活動などを行っています。

チェコ

モラヴィア地方の 2 つの町で、難民にアパートと家具を提供しています。

ドイツ

首都ベルリンで難民に宿泊を提供しています。

ギリシャ

難民への支援物資や援助、助言を提供しています。

スイス

首都ベルンで 500 人を収容する難民保護施設を運営しています。

オランダ

ロッテルダムに係留されたクルーズ船に宿泊中の難民 1,000 人に医療と社会的支援を提供しています。

右頁の写真の説明

上段：ウクライナのドニプロの救世軍小隊は空襲警報が鳴り響く中であって祈りを献げる。

中段左・中央：ウクライナのドニプロで避難民にスープを提供。中段右：ウクライナのキーウで支援品を配布。

下段：ノルウェーでウクライナ難民に住宅と支援を提供。





救世軍の活動はみなさまの
ご寄付によって支えられています。
ぜひ救世軍への寄付をご検討ください。
詳しくは救世軍ホームページをご覧ください。
<https://www.salvationarmy.or.jp/donation>